

## 第63回（平成22年度）

# 社団法人 福島県放射線技師会総会資料

期 日 平成22年5月15日（土）13:30～20:00

平成22年5月16日（日）9:00～11:00

会 場 会津東山温泉「東山グランドホテル」 会津若松市

福島県会津若松市東山町大字湯本字上湯本5番地

TEL 0242-27-3500

### プログラム

平成22年5月15日（土）

13:30 受付

14:10 学術委員会分科会活動内容発表会

15:15 開場 一般公開

15:25 特別講演 「災害活動現場の現状」

講師：会津若松消防本部警防グループ

消防司令 真部文夫 先生

16:15 終了

16:30 総会

\* 総会終了後、各分科会ごとの情報交換会が予定されています。  
日頃疑問に思うこと、聞きたいことを整理して参加しましょう。

平成22年5月16日（日）

9:00 分科会活動方針に関する討論

11:00 全体集約 解散

総会資料は総会会場に用意してあります。

## 総会次第

- 司 会 吉野さゆり
- 一、開会の辞 副会長 遊佐 烈
- 二、会長挨拶 会 長 鈴木憲二
- 三、表 彰 永年勤続（20年・30年）
- 四、総会運営ならびに資格審査委員選出
- 五、議長選出
- 六、議事録署名人選出
- 七、書記選出
- 八、資格審査報告
- 九、議事
- 第1号議案 平成21年度事業報告について
  - 第2号議案 平成21年度決算報告について
  - 第3号議案 平成21年度監査報告について
  - 第4号議案 平成22年度事業計画案について
  - 第5号議案 平成22年度予算案について
  - 第6号議案 その他
- 十、議長・書記解任
- 十一、閉会の辞 副会長 斎藤康雄

### 三、平成21年度表彰者名簿

1. 社団法人日本放射線技師会 永年勤続（50年）  
伊藤 陸郎
  
2. 社団法人日本放射線技師会 永年勤続（30年）

青柳不二雄	大原総合病院附属健康クリニック	(県北)
村上 博文	川俣病院	(県北)
佐々木 徹	太田総合病院附属太田熱海病院	(県南)
白川 義廣	竹田総合病院	(会津)
星 寿郎	坂下厚生総合病院	(会津)
泉 英親	菅波病院	(浜通)
志賀 秀範	いわき市立総合磐城共立病院	(浜通)
  
3. 社団法人福島県放射線技師会 永年勤続（20年）

県北支部		
高野 基信	福島県立医科大学附属病院	
阿部 智	大原総合病院附属大原医療センター	
木戸 敏平	福島西部病院	
渡辺 義秋	福島県保健衛生協会	
県南支部		
堤 雅紀	星総合病院	
増子 勇一	寿泉堂総合病院	
会津支部		
水谷 和芳	西会津診療所	
渡部 仁	喜多方病院	
遠山 和幸	会津総合病院	
浜通支部		
村上 薫	小野田病院	
森下 克彦	かしま病院	
村上 光幸	いわき市立総合磐城共立病院	

#### 4. 学術奨励賞

平成21年度学術奨励賞

「3D-Resolutionを考慮した画像再構成条件の検討」

公立学校法人福島県立医科大学附属病院 永井 千恵

「当院におけるVirtual WedgeとPhysical Wedgeの比較検討」

JA福島厚生連 白河厚生総合病院 田代 和広

シネ研学術奨励賞

学術調査研究班報告

「MDCT装置の性能評価に関する基準案の提案班報告」

元福島県立医科大学附属病院 放射線部

片倉俊彦 他

日本放射線技術学会雑誌 Vol.65, No.4, 491-502, (2009)

#### 四、総会運営ならびに資格審査委員選出

4名 (	)	県北支部
(	)	県南支部
(	)	会津支部
(	)	浜通支部

#### 五、議長選出

2名 (	)	浜通支部
(	)	会津支部

#### 六、議事録署名人

2名 (	)	会津支部
(	)	会津支部

#### 七、書記選任

2名 (	)	会津支部
(	)	会津支部

#### 八、資格審査報告

定款 24 条 (定足数)

会議は、総会においては正会員総数の過半数以上、理事会においては理事現在数の 3 分の 2 以上の出席がなければ開会することができない。

正会員数	6 2 5	名
委任状出席者数		名
総会出席者数		名

# 第 1 号議案 平成 2 1 年度事業経過報告

## 総括

一昨年起こったリーマン・ショックの影響による経済危機は未だに解消されず、正規職員の新採用どころか非正規職員の解雇に始まり、雇用不安の中で経済的な発展が望めないまま景気が後退した。また賃金の抑制によりデフレスパイラルに陥った。政治的には長年続いていた自由民主党から民主党へ政権交代が起こったが積極的な経済対策が打ち出せなかったため経済危機は未だ続いている。また医療界においても昨年大流行した新型インフルエンザへの対策が後手となったり、度重なる診療報酬の引き下げによる病院経営への圧迫、医師不足と悪政による病院の閉鎖等多くの問題を露呈した。特に医師不足による救急患者の病院たらい回しは、医療そのものの本質が崩壊していく結果となり、今後の医療制度の建て直しが急務であると考えられる。このような振れはしばらく継続するものと思われ、医療制度や放射線技師の教育制度など広範囲の情報に注意深い関心を寄せる必要があり、福島県放射線技師会の役割は重要なものとなっている。

このような情勢の中、平成 2 1 年度は福島県放射線技師会会員の放射線技術レベルの向上による地域医療への貢献ならびに緊急被曝医療を主とした防災活動への参加や自治体主催行事への参加などによる放射線技師の社会貢献において一定の成果を得た。具体的には、精度管理中央委員会との共催による福島県マンモグラフィ技術講習会の開催により、多数の乳房撮影精度管理委員会認定者を輩出した。更に、各種の研修会ならびに講演会などを数多く開催する事によって会員のレベルアップを図ることが出来た。また、福島県の原子力防災訓練などに積極的に協力するなど地域住民の健康を守る活動を行った。

このことは外部からの評価も高く、今年度申請している公益社団法人への移行の取組、来年度の公益法人認可に向けて順調に進捗している。また日本放射線技師会会員への本会会員の減少は認められるが、本会の会員数には影響が無く、福島県放射線技師会の主旨が理解されているものと思われた。今後も会員となるメリットや魅力を創出し、技師会未加入放射線技師の勧誘など志向する必要がある。

以上、平成 2 1 年度は役員諸氏の犠牲的活動により着実に事業が施行され概ね順調な推移であった。職場情勢の厳しい折りであることから、役員諸氏の厚意に対し深甚の謝意を表するとともに更なる御協力を御願いたい。また、福島県放射線技師会の会員としてのメリットがより明確に理解できるよう、的確な判断材料となる情報収集を幅広く行い発信したい。

## 会務報告

4月2日	平成20年度福島県放射線技師会第5回理事会	福島医大 放射線部
4月10日	県北支部総会	福島テルサ
4月22日	平成21年度県南支部総会	ビッグアイ
4月25日	会津支部総会・研究発表会	ホテル ニューパレス
4月25日	浜通り支部総会・学術発表会	リフレ富岡
4月28日	県北支部第1回理事会	保健衛生協会
5月16日～17日	福島県放射線技師会総会	福島市飯坂温泉 あづま荘
5月21日	第1回浜通り支部役員会	南相馬市立総合病院（応接室）
5月30日	福島県MRI技術研究会	福島テルサ
6月4日	第2回浜通り支部役員会	リフレ富岡
6月4日～6日	第25回放射線技師総合学術大会	かごしま県民交流センター
6月5日	日本放射線技師会総会	かごしま県民交流センター
6月9日	県南支部第1回理事会	ビッグアイ
6月12日	福島県放射線技師会第1回理事会	福島医大 放射線部
6月20日	福島県CTビギナーズセミナー	コラッセ福島
6月27日	福島県臨床画像研究会	福島テルサ
6月27日	福島県放射線技師会 合同委員会	福島テルサ
6月28日	県北支部第2回理事会	保健衛生協会
7月2日	第1回会津支部 理事会	竹田総合病院 東2F会議室
7月17日	第71回会津画像研究会	山鹿クリニック 2F西側会議室
7月21日	第7回いわき地区 画像研究会	いわき保健センター
7月25日	緊急被ばく医療基礎講座I（除染コース・搬送コース）	福島医大 光が丘会館、除染棟
7月25日	県南支部サマーセミナー	ビッグアイ
7月25日	県南支部情報交換会（ビア・パーティー）	魯山（郡山市）
8月1日	福島県乳腺画像研究会	ビッグパレット
8月1日	消化器撮影研究会	ビッグパレット
8月9日	福島県放射線治療分科会	南東北がん陽子線治療センター
8月20日	全国新任会長会議	日放技 会議室
8月20日	全国会長会議	日放技 会議室
8月20日	東北地域会長会議	日放技 会議室
8月24日	県北支部第3回理事会	保健衛生協会
8月29日	県北画像研究発表会	福島テルサ

8月29日	県北支部 暑気払い	福島テルサ
8月29日	浜通り支部夏期学術研修会	いわき市総合保健福祉センター
8月29日	第3回浜通り支部役員会	いわき市総合保健福祉センター
9月5日	いわき地区 健康祭り	いわき市総合保健福祉センター
9月11日	相双地区 画像診断勉強会	南相馬市 ホテル ラフイーヌ
9月26日	緊急被ばく医療基礎講座Ⅱ(ホールボディカウンタースコース)	福島医大 除染棟
9月26日	県北支部「健康フェスタ2009」	福島市健康福祉センター
9月27日	「第25回 会津若松市健康まつり」	会津若松市文化センター
10月3日	ネットワーク委員会	郡山市 ビッグアイ
10月4日	郡山健康フェスタ2009	郡山総合体育館
10月17日～ 18日	福島マンモグラフィー技術講習会	福島医大 第2臨床講義室、放射線部
10月18日	いわき地区市民公開講座	いわき市総合保健福祉センター
10月23日	精度管理委員会	大田西ノ内病院 5号館 2F 会議室
10月24日	MDC Tカンファランス	福島テルサ
10月25日	生涯学習セミナー (CT検査)	盛岡市 アイーナ
10月27日	第8回いわき地区 画像研究会	いわき保健センター
10月30日	第72回会津画像研究会	山鹿クリニック 2F 西側会議室
11月1日	福島県放射線技師会学術大会	福島医大 講堂
11月7日	東北地域会長会議	青森市国際ホテル
11月8日	東北地域学術大会	青森市男女共同参画プラザ
11月13日	福島県放射線技師会第2回理事会	福島医大 放射線部
11月18日	県南支部第2回理事会	ビッグアイ
11月25日	画像診断・病診連携懇話会	福島ビューホテル
11月26日	第2回会津支部 理事会	竹田総合病院 東2F 会議室
11月26日	県北支部第4回理事会	保健衛生協会
11月26日～ 27日	メディカルクリエーションふくしま2009	ビッグパレット
11月29日	生涯学習セミナー (CT検査)	福島医大第2臨床講義室
12月6日	第2回治療分科会	南東北がん陽子線治療センター2階 大会議室
12月12日	リレー・フォー・ライフ福島実行委員会呼びかけ委員会	福島医大光が丘会館
12月22日	福島県原子力防災訓練	富岡町総合体育館、他
1月14日	福島県放射線技師会第3回理事会	福島医大 放射線部
1月15日	いわき地区勉強会	クレールコート
1月16日	第17回福島県画像技術研究会	福島テルサ



1月30日	リレー・フォー・ライフ福島実行委員会	福島医大光が丘会館
1月30日	県北支部CT勉強会・新年会	福島テルサ
1月30日	県南支部新年勉強会	ビッグアイ
1月30日	県南支部新年情報会	坐 和民
2月1日	公益法人申請打ち合わせ	福島県庁 医療看護課
2月5日	第73回会津画像研究会	山鹿クリニック 2F 東側会議室
2月5日	会津支部新年会	レストラン タイム
2月5日	第4回浜通り支部役員会、浜通り支部表彰委員会	リフレ富岡
2月20日	福島県放射線技師会学術講演会	サンルートプラザ福島
2月23日	第9回いわき地区画像研究会勉強会	いわき市立保健センター
2月25日	公益法人申請打ち合わせ	福島県庁 医療看護課
2月26日	福島県放射線技師会第4回理事会	福島医大 放射線部
2月26日	相双地区画像診断勉強会	南相馬市 ロイヤルホテル丸屋
2月27日	県北支部学術講演会	福島テルサ
3月2日	第3回会津支部 理事会	竹田綜合病院 東2F会議室
3月12日	精度管理委員会	太田西ノ内病院
3月14日	第3回治療分科会	南東北がん陽子線治療センター
3月24日	県南支部第3回理事会	ビッグアイ
3月27日	日本消化器がん検診学会東北支部超音波部会研修会福島セミナー	コラッセふくしま
3月29日	県北支部第5回理事会	保健衛生協会

1、平成21年度総会

開催日時 平成21年5月16日(土)～17日(日)

開催場所 「あづま荘」 福島市

会員総数 626名中 506名(うち委任状 455名)の出席で開催された。提案された議題は原案通り可決された。

特別講演 「現在の医療状況」

講師 富士フイルム(株) 野口雄司 氏

2、福島県放射線技師学会の開催

開催日時 平成21年11月1日(日)

会場 福島県立医大講堂

県会員から25演題のほか、ランチョンセミナーなど、147名の参加登録の下に開かれた。

3、福島県生活習慣病従事者指導講習会

今年度は胃がん部門を独自事業として、乳がん部門を福島県の委託事業として実施した。

A、乳がん検診(マンモグラフィ)従事者研修会

開催日時 平成21年 10月17(土)～18(日)

会場 福島県立医大附属病院放射線部

今年度も、マンモグラフィ精度管理中央委員会の認定講習として実施し、県内から 47名受講した。講習後、認定試験が行われた。

また、更新者講習も平行して行われた。今年度は胃がん部門を独自事業として、乳がん部門を福島県の委託事業として実施した。

B、胃がん検診従事者研修会

開催日時 平成21年8月1日(土)

会場 ビックパレットふくしま

消化器研究会と合同で開催された。参加者61名 会員55名。

一般講演

「基準撮影について」

(財)福島県保健衛生協会 亀山欣之

「当院における食道一噴門部の撮影」

済生会福島総合病院 遠藤 浩

「前壁撮影のポイント」

わたり病院

会田 怜史

「当院における胃体中部～十二指腸球部の撮影」

大原健康クリニック

町田 拓郎

特別講演

「胃X線検査の撮影と読影の実際」

(財)早期胃癌検診協会 診療部長

長浜 隆司 先生

原子力防災関連事業

平成21年 7月25日

福島県「緊急被ばく医療基礎講座Ⅰ」  
(除染・搬送コース)

平成21年 9月26日

福島県「緊急被ばく医療基礎講座Ⅱ」  
(ホールボディカウンターコース)

平成21年12月22日

福島県原子力防災訓練

#### 4、 全国放射線技師総合学術大会

平成21年6月4～6日、かごしま県民交流センターにて開催された。

永年勤続表彰で50年表彰 0名、30年表彰 15名が受賞した。

#### 5、 分科会・研究会および部会の活動

##### ①治療分科会

福島県放射線治療研究会

平成21年08月09日(南東北がん陽子線治療センター)

平成21年12月06日(南東北がん陽子線治療センター)

平成22年03月14日(南東北がん陽子線治療センター)

##### ②消化器分科会

福島県消化器撮影研究会

平成21年08月01日(ビッグパレット)

##### ③乳房分科会

福島県乳腺画像研究会

平成21年08月01日(ビッグパレット)

##### ④CR分科会

福島県CR研究会

平成22年01月16日(福島テルサ)

##### ⑤MR分科会

福島県MR I技術研究会

平成21年 5月 30日(福島テルサ)

##### ⑥CT分科会

福島県画像技術研究会

平成22年01月16日(福島テルサ)

福島県CTビギナーズセミナー

平成21年06月20日(コラッセふくしま)

##### ⑦その他の研究会

福島県臨床画像研究会

平成 21 年 06 月 27 日 (福島テルサ)

⑧福島県放射線管理士部会

緊急被ばく医療講習会への参加

福島県「緊急被ばく医療基礎講座Ⅰ」

平成 21 年 7 月 25 日

(除染搬送コース) (9 名参加)

福島県「緊急被ばく医療基礎講座Ⅱ」

平成 21 年 9 月 26 日

(ホールボディカウンターコース) (7 名参加)

原子力防災訓練関連への参加

福島県原子力防災訓練 (8 名参加)

平成 21 年 12 月 22 日

放射線利用に関する啓もう活動

いわき地区 健康祭り

平成 21 年 9 月 5 日

福島市「健康フェスタ」

平成 21 年 9 月 26 日

会津若松市「第 25 回健康まつり」

平成 21 年 9 月 27 日

郡山市「ファミリーフェスタ」

平成 21 年 10 月 4 日

6、各委員会活動

①総務企画委員会

会員数の増員を目指す広報活動及び調査活動→各種講習会の企画

②学術委員会

福島県放射線技師学術大会 各種研修会の開催など

福島県放射線技師学術大会プログラム・抄録のホームページへの掲載

③広報編集委員会

ニュース・会報の発行 (10 項 参照)

④精度管理委員会

福島県内医療機関に於ける「PACS 導入率調査」に関するアンケート内容を検討した。

⑤調査委員会

調査テーマは『放射線技師の定数の基準は?』でアンケート内容の検討および集計シートを作成した。

⑥ネットワーク委員会

福島県放射線技師会のホームページの更新

一般向けホームページの作成。

会員向けホームページの更新。

学術用抄録のサーバーへの保存について

⑦財務委員会

今年度会費納入率は93%であった。

遅延は同じ方の場合が多く、事務労力簡素化のためご協力頂きたい

⑧生涯教育委員会

a.) アドバンスド放射線技師格取得のための啓発活動。

臨床技術能力資格のための講習会の開催

生涯学習セミナー {X線CT検査} の開催

b.) 生涯学習システムの各種認定更新カウント取得の啓発

県独自のポイント制度の確立。

生涯学習システムへの日放技ポイント登録のためのフォーマットの作成および申請手順の決定。

c.) 日放技の教育委員要件を満たす教育委員の養成

7、市町村健康事業への参加

いわき地区 健康祭り	平成21年09月05日(土)
福島市健康フェスタ2009	平成21年09月26日(土)
会津若松市健康まつり	平成21年09月27日(日)
郡山市ファミリーフェスタ2009	平成21年10月04日(日)
いわき地区市民公開講座	平成21年10月18日(日)

8、ニュース・会報の発行

平成21年度 (社)福島県放射線技師会ニュース

114号	平成21年	4月30日発行	巻頭言	片倉前会長担当	県北支部 (池田)
115号	平成21年	6月30日発行	巻頭言	鈴木会長担当	浜通支部 (今野)
116号	平成21年	8月31日発行	巻頭言	斎藤副会長担当	県南支部 (本間)
117号	平成21年	10月31日発行	巻頭言	遊佐副会長担当	県北支部 (池田)
118号	平成22年	1月1日発行	巻頭言	鈴木会長担当	浜通支部 (村上)
119号	平成22年	3月1日発行	巻頭言	斎藤副会長担当	会津支部 (森谷)

会報の発行 平成22年 3月 第46号

## 9、庶務報告

正会員数	平成21年度当初	626名
	平成21年度末	625名
	入会(転入含む)	28名
	退会(転出含む)	29名
名誉会員数		12名
賛助会員数		28社

第2号議案 平成21年度 決算報告







第3号議案 平成21年度 監査報告

平成22年 4月 日

会計監査報告書

(社) 福島県放射線技師会

会長 鈴木憲二 殿

(社) 福島県放射線技師会定款第34条に基づき、平成20年度の監査を、平成22年 4月 日に実施した結果、適正に処理されていることを認めます。

(社) 福島県放射線技師会

監 事 片倉 俊彦 印

外部監事 高橋 宏和 印

## 第4号議案 平成22年度事業計画（案）

### 総括

リーマン・ショックによる経済危機はますます混迷を深め、アメリカでは日本車バッシングとともとれる米議会での公聴会により輸出に頼る日本経済に大打撃を与えている。また民主党政権による経済対策への遅れや政局の混乱による行政の停滞も著しい。この様な情勢の中、医療制度の方向も不透明であり、患者さんの不安も増大しつつある。

この様な事態において私達医療従事者が行い得る事は唯一、患者さんと医療従事者の信頼関係を確立し、安心して医療を受けて貰うことである。すなわち、医療技術者としての使命忘れず、誇りと自信を持って患者さんに接することである。このためには裏付けとなる放射線診療技術の高揚は必須であり、本年度も引き続き学術大会、学術講演会を初めとする学術活動を行う。

また、法人に関する法律の施行により従来の公益法人としての活動を再度承認させる移行申請を今年度も行う。今までも福島県放射線技師会は県内医療に貢献するため放射線技師の資質の向上を目的としている様々な事業を行ってきた。放射線技師が最新の技術、豊富な知識を持ち個々にレベルアップすれば県民に対する医療レベル向上へと期待されるからである。県民から見える公益性のある事業として福島県放射線技師会は各方部で開催の「健康祭り」と毎年行われている福島県原子力防災訓練に協力をしてきた。今年度は更に多くの県民が参加できる事業として、福島県放射線技師会総会時の特別講演、福島県放射線技師会学術大会の講演を県民に公開していく。

平成22年9月4日（土）から5日（日）にわたって福島医大 陸上競技場をメイン会場として開催されるリレー・フォー・ライフに福島県放射線技師会として後援し、リレーウォークに参加し24時間交代で歩ける人数を募集している。是非多くの会員がこのイベントに参加するようお願いしたい。

最後に、福島県放射線技師会の目的は放射線の専門技術者としての社会貢献である。今まで行ってきた集団検診の啓もうや原子力災害対策に対する協力などもその一環である。地域住民が過度に放射線を怖がることなく、医療放射線や原子力の有用性を享受できるよう放射線技師の専門的知識を駆使した啓もう活動や原子力災害時対応のための知識習得ならびに実務訓練に努力する。

福島県放射線技師会の個性を発揮し、県民への貢献を果たすため会員の総力を結集し安定した組織として活動する。

1. 平成22年度総会  
平成22年5月15・16（土・日）「東山グランドホテル」 会津若松市  
特別講演  
演題 「災害活動現場の現状」  
講師 会津若松消防本部警防グループ  
消防司令 真部文夫 先生
2. 福島県放射線技師総合学会の開催  
平成22年10月31日（日） 福島市 福島医大講堂
3. 各種委員会活動
  - ①総務企画委員会  
県内放射線技師実態調査。会員数の増員を目指す広報活動及び調査活動。
  - ②学術委員会  
福島県放射線技師学会の開催  
各種研究会・研修会・講演会の支援活動
  - ③広報編集委員会  
ニュース・会報の発行
  - ④精度管理委員会  
福島県内医療機関に於ける「PACS導入率調査」に関するアンケートの  
発送及び集計。
  - ⑤調査委員会  
22年度調査テーマ『放射線技師定数の基準は？』に関するアンケート  
ト発送(5月)、回収(6月)、分析(7,8,9月)、報告(10月)。
  - ⑥ネットワーク委員会  
ホームページの新規更新  
医療従事者向けページの新規作成、公開  
会員向けトップページ内容新規更新、公開  
ホームページの維持管理
  - ⑦財務委員会  
会費の支払いが日放技と混同されないよう会費納入方法を周知し、会費納  
入率のアップを図る。特に、前年度会費未納者には注意を喚起する。
  - ⑧生涯教育委員会
    - a.) アドバンスド放射線技師格取得のための啓発活動。
    - b.) 生涯学習システムの各種認定更新カウント取得の啓発
    - c.) JARTの教育委員を福島県放射線技師会会員から養成する
    - d.) 放射線管理士、機器管理士の更新手続きの啓もう

4. 緊急被ばく医療防災対策への協力
  - 県主催の緊急時医療活動訓練に参加する
  - 緊急被ばく医療講習会への会員派遣
  - 福島県原子力防災行政への参加協力
  - 福島県緊急被ばく医療対策連絡会議
5. 胃がん検診従事者研修会の開催
6. 乳がん検診従事者研修会の開催
7. 専門分科会・各種研究会および部会の活動
  - 6分科会（治療、消化器、乳房、CR、MR、CT）、1部会（放射線管理士）

福島県放射線治療研究会	
福島県消化器撮影研究会	平成22年09月04日（ビッグパレット）
福島県乳腺画像研究会	平成22年07月17日（ビッグパレット）
福島県CR研究会	平成23年01月22日（福島テルサ）
福島県MRI技術研究会	平成22年07月10日（コラッセ福島）
福島県画像技術研究会	平成23年01月22日（福島テルサ）
福島県CTビギナーズセミナー	平成22年06月19日（福島テルサ）

#### 福島県放射線管理士部会

◎緊急被ばく医療活動に関する研修を実施する。

- 1) 放射線管理士部会主催による研修会を実施する（年1回程度）。
- 2) (財)原子力安全研究協会や福島県が主催する研修会へ参加する。
- 3) 福島県原子力防災訓練へ参加または参画する。

◎放射線診療や放射線被ばくに関する啓もう活動を実施する。

- 1) 各自治体が開催する「健康まつり」へ参加する。

◎放射線管理士部会の活性化を図る。

- 1) 放射線管理士部会の入会を促進する。

Ex. 県技師会のホームページやニュースに活動内容を掲載し、会員に広く知ってもらおう。

福島県臨床画像研究会	平成22年06月26日（福島テルサ）
------------	--------------------

第5号議案 平成22年度予算案







## 6号議案 その他